

### 会 議 録(3)

発言者	発 言 内 容
	午後2時00分 開会
主幹	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は井上委員、杉田委員、野村委員、平野委員からご欠席の連絡をいただいております。飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和5年度第3回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p>
主幹	<p>2 あいさつ</p> <p>はじめに、馬場会長にごあいさつをお願いします。</p>
会長	(会長あいさつ)
主幹	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして教育部長よりあいさつを申し上げます。</p>
部長	(部長あいさつ)
主幹	<p>なお、傍聴者ですが、本日は申し込みがありませんでしたのでご報告いたします。</p> <p>これより議事に入ります。議事の進行につきましては、条例第15条第1号の規定により、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議事に入ります。本日の議事について説明をお願いします。</p>
館長	<p>本日の議事は次第掲載のとおり、3件です。まずは「(1)令和5年度事業報告・予定」について、ご審議いただきたいと考えております。説明を申し上げます。</p> <p>(資料1に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、「(1)令和5年度事業報告・予定」について、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>入館者統計で、10月が極端に落ちている理由はどのように分析していますか。また『飯能市立博物館収蔵資料目録』の第10号を製作中とのことですがその成果を生かした事業、埼玉県立飯能高等学校での出講が6回あったようですがその成果を発表する事業は検討していますか。</p>

館長	10月の入館者の減少の理由ですが、分析できていません。収蔵資料目録第10号刊行の成果を生かした事業については来年度以降、検討いたします。
会長	出張授業について、学校側から依頼があつて赴くのですか。
館長	生涯学習課の事業の一つである、「学びと HANNO」出前講座(飯能市生涯学習出前講座)を通して、または学校から直接依頼があります。
会長	そういったことに関心のある教員が依頼するのですか、それとも学年の教員の総意によって依頼するのですか。
館長	関心のある教員が依頼していると考えております。
会長	博物館から、そういった出張授業についての広報を行っている訳ではないですね。
館長	ご指摘の通りです。飯能市の校長会で、口頭で案内をしていますが、当館から積極的に働きかけている訳ではありません。
委員	小学3年生の社会科学習のための見学対応について、その実績は掲載しないのですか。
館長	今まで掲載していませんでしたが、来年度以降は掲載します。
会長	私は他市の博物館協議会の委員も務めているのですが、飯能市の取り組みは評価に値すると思います。
委員	高校への出講の取り組みについては私も同様に考えます。実際に出講してみて、反応はどうでしたか、またこの取り組みは継続していくのですか。
館長	継続については、やはり関心のある教員の方が動いてくれなければ実施できないと考えます。令和5年度は、国立歴史民俗博物館の「博学連携研究員制度」に参加していた方が担当だったので実現できました。
主幹	反応については、日本史探求は考古資料を教室に持って行けたこと、また歴史に興味を持つ生徒が多かったため、多くの生徒が関心を持っていたように感じます。
館長	地理総合ですが、飯能高校には特進クラスと普通クラスが設置されており、雰囲気異なります。問いかけへの反応もクラスによって様々でした。
委員	その教員の方が飯能高校にいらっしゃる間は、継続について期待ができる訳です

	<p>ね。地域史を学ぶことが、高校の単元と繋がるのであれば、こうした取り組みが定着すると良いですね。</p>
会長	<p>日本史の授業において、博物館を積極的に使うことは「高等学校学習指導要領」に記載されていた筈です。</p>
館長	<p>ご指摘の通りで、教科書にも掲載されています。ですが、実態としては、そこまで指導を行っていないのが現状のようです。</p>
委員	<p>市制施行70周年ということで、事業支援なども行い通年の業務よりも多くの事業を行ったようですが、館の運営にあたり支障等はありませんか。</p>
館長	<p>飯能市市制施行70周年記念特別事業「写真でたどる飯能市の70年」を開催し、その成果を骨子として、事業を展開しました。よって大きな支障等はありませんでした。</p>
会長	<p>他にご意見等ありますか。</p>
委員	<p>(なしの声あり)</p>
会長	<p>では次に、「(2) 令和5年度博物館評価(通年)」について、説明をお願いします。</p>
館長	<p>まず、博物館事業評価表(通年)「★特別展「原市場村秘史—受け継がれる記録と記憶—」の充実」について、主事より説明いたします。</p>
主事	<p>(資料2 NO. 2023年度—1に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、「★特別展「原市場村秘史—受け継がれる記録と記憶—」の充実」について、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>原市場地区は、既存の研究がほとんどない地域であり、本展は研究の初発に位置付けることができます。関連講演会の講師である丸山氏も仰っていましたが、ゴールラインがない訳です。原市場地区の研究の基礎を築いたという点で評価してもよいと考えます。</p>
委員	<p>私はタイトルの、何が「秘史」なのか理解できませんでした。館長あいさつにもありましたが、わかりづらかったです。中世については指定文化財等もたくさんありますが、展示されているのは蔵骨器だけで残念でした。また「原市場」という地名の起源についての言及もほしいところでした。明治以降の行政文書の展示は面白みに欠けたし、キャプションでの説明も不十分でした。解説パネルも地に空撮の写真を使ってデザインは良かったのですが読みづらく、ユニバーサルデザインを意識したパネルデザインを心がけて</p>

	<p>欲しかったです。一方展示造作物「地図に見る原市場」については、これからの地域展を実施するうえで、非常に重要な装置だと思います。また、埼玉県にも残っていない「昭和 38 年民俗資料緊急調査」の回答の写しが発見されたこと、これは重要な紹介であったと考えます。展覧会は賞味期限があります。展示を見るときには手元にあり、展示を見終えて帰宅してからまた見直す、という利用が望ましく、図録の完成の遅れは、評価できません。今後もこれらの課題もふまえ、継続してよい展覧会を作ることに意識を持って欲しいと考えます。</p>
会長	<p>「昭和 38 年民俗資料緊急調査」の発見及び展示など、評価ができる点もあったと思います。</p> <p>それでは、この事業については達成率80%、評価Cでよろしいですか。</p>
委員	(異議なしの声あり)
会長	<p>続いて博物館事業評価表(通年)「市民学芸員活動の充実」について、説明をお願いします。</p>
館長	(資料2 NO. 2023年度-2に基づいて説明)
委員	<p>要望ですが、古文書整理型市民学芸員の行ってきた収蔵資料目録第10号に掲載する文書の翻刻について、その成果を例えば展示や解説を行うなどの事業を検討してください。</p>
委員	<p>博学連携事業参加型市民学芸員、飯能第二小学校の放課後子ども教室のプログラムについて、どの程度の時間実施したのですか。</p>
主査	<p>10月2日に、50分のコマを担当しました。</p>
委員	<p>放課後子ども教室の枠組みの中で、博物館が受け持つというのは、他市町村では見ない取り組みだと思います。ぜひ他の学校でも実践してみたいかでしょうか。</p>
委員	<p>麦作文化探求型市民学芸員について、飯能に限らず、麦作文化は絶えつつあります。こうした、無形の技術を実践しながら継承していくことは、時代とともに価値が高まりつつあります。外部に情報発信する場を設けてはいかがでしょうか。</p>
主事	<p>「麦作文化探求型市民学芸員の歩み(仮)」として、今までの活動の歩みを冊子状にまとめる作業を行っています。外部への情報発信という意味では、この作業もそのために行っています。</p>
委員	<p>市民学芸員制度について、成立から 20 年が経過しているということですが、人数の推</p>

	移はどのようになっていますか。
館長	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が確認されてから、養成講座を実施していないため、徐々に減少している傾向にあります。現在の市民学芸員制度ではそれぞれの分野で養成を行うことになっており、したがって、養成分野の異なる活動に参加することは原則できません。分野ごとの養成のハードルが高いことで、分野をまたいでの活動が自由に出来ず、活動に参加しにくいという意見もあります。
会長	既に関係性が成立しているグループには、新規参加者が入りにくいという課題もあります。 それでは、この事業については達成率100%、評価Aでよろしいですか。
委員	(異議なしの声あり)
会長	続いて博物館事業評価表(通年)「収蔵資料の整理」について、説明をお願いします。
館長	(資料2 NO. 2023年度-3に基づいて説明)
会長	このような活動は評価されにくいですが、ぜひ継続してください。
委員	デジタルアーカイブでの公開は登録博物館を目指すなら必要になります。年に10点でもよいので、公開していく必要があります。
委員	「飯能市立博物館デジタルアーカイブ」についてですが、埼玉県立近代美術館の「イン・ビトウィーン」展で展示された資料に飯能市立博物館所蔵のものがありました。該当の資料はこれに収録されていたのですか。
館長	ご指摘のとおりです。このアーカイブで公開されている資料のうち、大部分は絵画です。展示の担当者の方に伺ったところ、このアーカイブで検索をして、展示資料を発見したということです。このアーカイブを整備・公開していることの、一つの成果と考えております。
委員	目録の作成は、誰が担当しているのですか。
館長	学芸員ほか、会計年度任用職員の2名の方が歴史・文化資料の目録作成を担当しています。
会長	学芸員と会計年度任用職員がこうした博物館活動を支えている訳ですが、身分的に不安定なので、何らかの処遇を考えて欲しいと思います。飯能市役所の中で、きちんと学芸員の職分を認めて欲しいと、飯能市立博物館協議会の会長としてお願いします。

部長	検討してまいります。
委員	このアーカイブに関連して、今まで発行してきた目録等を公開する方向性はありますか。
館長	文書に関しては、現行のデジタルアーカイブにはなじまないと考えておりましたが、既存の収蔵資料管理システムを最大限に活用することが公開の近道であると最近では実感しています。このデジタルアーカイブを利用するのか、あるいは Excel データをアップロードするのか、検討しながら公開に向けて動きたいと考えております。
会長	博物館活動の根幹の部分です。市民・議員・職員など多くの方に理解を得ることができるよう情報発信の仕方も考えてください。 それでは、この事業については達成率100%、評価Aでよろしいですか。
委員	(異議なしの声あり)
会長	続いて博物館事業評価表(通年)「★飯能 GIGA スクールを活用した博学連携事業の推進」について、説明をお願いします。
館長	(資料2 NO. 2023年度-4に基づいて説明)
委員	達成指標と目標値について、「小・中学校社会科研究展におけるデジタルデータによる研究成果提出を可能にする」について、児童が主体であり達成が困難なのは最初からわかっていたことと思います。指標を立てる際、館の努力ではどうにもならないことを目標にしない方が良いかと思えます。
館長	ご指摘の通りですが、この件は教育部から指示があったため、このような目標を設定しました。
委員	デジタルデータの提出、ということですが、研究発表会の際には、プレゼンテーションソフトを利用した発表が半数以上ということですが、その作成も児童・生徒が行っているのでしょうか。
主査	保護者の助力もあったと思いますが、そうだと思います。
委員	プレゼンテーションソフトを児童・生徒が用いて発表している現状があるなら、デジタルデータでの研究成果の提出も、そう遠くないことと思います。ぜひ継続してください。
委員	デジタルデータでの提出があった場合、展示はどのようにするのですか。

主査	教育センターからタブレットの予備機を借用し、据え置きにして、観覧者に操作・閲覧してもらおうことを想定しています。モニターによる映し出しも可能です。
委員	将来的には、博物館に来なくても、児童・生徒の研究発表を見ることができるようになるのですか。
主査	技術的には可能です。
委員	タブレットを使った対話的な授業を年2回以上実施するとありますが、どのような事を行っているのですか。
館長	教員と協議しながら、タブレット及びソフトを扱っています。例えば、飯能戦争に関する文書の写真を児童のタブレットに配信し、読めた文字をどんどん書いていくことでリアルタイムで共有ができます。使いこなすことができれば、様々な可能性が考えられます。
会長	それでは、この事業については達成率90%、評価Bでよろしいですか。
委員	(異議なしの声あり)
会長	続いて博物館事業評価表(通年)「★飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実」について、説明をお願いします。
主査	(資料2 NO. 2023年度-6に基づいて説明)
委員	ご協力いただいている、講師の方々はどういった経歴の方々ですか。
主査	大石氏は NPO 法人「天覧山・多峯主山の自然を守る会」の自然観察指導員です。児島氏は飯能市エコツーリズム市民ガイドの会に所属しています。小澤氏は、有限会社トキワ環境という環境調査会社に勤めています。久津間氏は大東文化大学の講師です。
委員	体験やクラフトを伴う講座を実施する場合、ある程度人数減らす必要があります。そのために参加のべ人数が前年度以上という目標を達成できなかったということですが、そもそもこの目標設定に問題があります。来年度以降は改めて、満足度にしてはどうでしょうか。
館長	ご指摘のとおりです。
会長	令和5年は暑い日が続きましたが、講座の実施時期に影響は与えなかったのです

	か。
主査	観察会や講座の実施時期について、動植物の生態にあわせる必要があります。また、小・中学生の夏休みの時期でもあります。適切な時期を選び、検討しています。夏季に実施の際には、熱中症対策に務めるようにしていました。
委員	C「植物標本づくりを体験しよう」の標本づくり、子どもの参加が多くなってしまったとのことですが、原因はわかりますか。
主査	広報が、子どもを対象とした講座だと思わせてしまう内容であったことが要因の一つと考えられます。また、若い世代のこうした内容の講座への期待もあったものと考えます。
委員	観察会や講座について、飯能河原の火気使用有料事業の影響はありましたか。
主査	平日開催だったため、火気使用者は少なく、影響はありませんでした。
委員	付き添いの保護者からはアンケートはとったのですか。
主査	子どもからはとりました。
委員	付き添いの方から意見は聞かなかったのですか。
主査	一部はお聞きました。
委員	子どもだけに偏るのではなく、大人を対象にした講座等を今後も実施してください。
会長	博物館を助けてくれる存在がいることを評価表には書いてください。 それでは、この事業については達成率95%、評価Bでよろしいですか。
委員	(異議なしの声あり)
会長	以上の指摘等を踏まえて「コメント」・「課題と方向性」の欄を記入してください。それを委員にも送付してください。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	(なしの声あり)
会長	では次に、「(3)令和6年度 主要事業計画(案)」について、説明をお願いします。

館長	(資料3に基づいて説明)
会長	ご説明ありがとうございました。それでは、「(3)令和6年度主要事業計画(案)」について、質疑のある方はお願いします。
委員	収蔵品展のタイトルについて、新年度は新一万円札などが発行されるため「おさつ」かかと思いました。「お札」は「おふだ」なのか「おさつ」かルビを明記した方が良いです。また、特別展について、自然観察会等と内容をリンクさせてはどうでしょうか。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	(なしの声あり)
会長	それでは、「(4)その他」について、説明をお願いします。
館長	令和6年度の「教育行政の重点施策」については、提出時期の関係上、既に決定したことを報告します。特別展の充実、飯能 GIGA スクールを活用した博学連携事業の推進、飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実、市指定有形民俗文化財「落合家人形芝居及び説経節関連資料」の修理の4事業です。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	要望です。館に、めいわどうのスライドが寄贈されていますが、あれは戦後の結婚改善運動の一環で制作されたもので、舞台が加治地区、精明地区です。もう一点、名栗の桶屋道具一式が寄贈されています。これらについて、何か活用検討していただけたらと思います。
会長	質問ですが、小・中学校で、歴史資料室のある所はありますか。
館長	おそらくございません。
会長	もしあるようであれば、そういった部屋をうまく活用していただきたいと思います。
委員	要望です。現在、市の文化財指定について「底抜け屋台」が俎上にあがっています。特別展の構想等は既に決まっているのですが、新しい文化財の指定にともなう展示を検討してください。
主幹	4 その他 ご審議ありがとうございました。それではその他について、何かございますか。

委員	飯能市域ではじめて音楽に触れた、武満徹のことを題材にした文章を『文藝飯能』第44号に寄稿しましたので報告します。
館長	主幹が能仁寺にある久留里藩主黒田氏、旗本中山氏の墓について研究した成果が出ました。『近世大名家墓の形成と背景』という書籍ですので報告します。
主幹	それでは「4 その他」は以上といたします。
主幹	<p>5 閉会</p> <p>それでは以上をもちまして令和5年度第3回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">午後3時55分 閉会</p>
<p>議事の内容、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>会長の署名 _____</p>	